
勝俣謙作

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

勝俣謙作

【Nコード】

N9406X

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

ライスの200字くらい小説。ぴたつといかんねえ。なかなか。

(前書き)

前書きなし。

カラスが鳴いていた。

勝侯謙作が家を出たとき、道で、相沼信二にばったり出会った。

「今からバイトかい」

「ああ。時給がたったの1000円だけ。生活できやしねえ。やっぱり固定給じゃないとダメだな」

相沼信二は苦笑いをする。信二は時給700円なのである。信二も今からアルバイトなのだ。

二人は別れた。謙作は塾に向かい、信二は工場へ向かう。

信二の工場で、アルバイトの危険手当では五円である。

笑える。一体何時代の話だ。明治時代に五円は大金だ。

(後書き)

後書きはありません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9406x/>

勝俣謙作

2011年10月26日09時12分発行